



迫る患者負担増

安倍政権は2017年4月に消費税を10%に引き上げようとしている。「社会保障のため」と繰り返し宣伝しているが、7月の参院選以降には医療・介護・年金などの切り捨てメニューが目白押し。言葉とは裏腹に社会保障の大改悪計画が進められている。

医療・介護・年金を大改悪 安倍政権が参院選後に計画



安倍首相は消費税増税で社会保障の充実を公約していたが…(写真は首相官邸ホームページから)

医療

安倍首相が議長を務める政府の経済財政諮問会議で、社会保障制度「改革」に関する「工程表」が2015年末に決められた。その中身は社会保障費の自然増を平減させるために、医療・介護・年金・生活保護などを軒並み切り捨てる計画になっている。

医療では、後期高齢者医療制度の低所得者の保険料軽減特例措置を今年度で原則廃止する。加入者の半数以上の負担額が2〜10倍に増える見込みだ。窓口負担を1割から2割に引き上げること

介護

介護保険では、65歳以上の利用料を一律2割負担にする計画が浮上。要支援者の訪問介護とデイサービスを保険給付から除外し、15年度から自治体の事業に順次移行しているが、今後は要介護1、2の人も保険から除

年金・生活保護などを軒並み切り捨てる計画になっている。

ほかに、▽70歳以上の負担上限額の引き上げ▽ビタミン剤やうがい薬などの市販類似医薬品の保険適用除外▽入院ベッドの削減・再編などを計画している。

年金

年金支給額を増減させる「マクロ経済スライド」を改変し、物価上昇時に支給額を大幅削減できる仕組みを検討。支給開始年齢を65歳からさらに引き上げるため、3年後の法案提出を狙っている。

協会が新たな患者負担増は受診抑制・受診中断を招き、健康や医療経営に重大な悪影響を及ぼすとして、政府の医療改悪を撤回させるために新たな請願署名に取り組みたいとしている。

舌圧・義歯咀嚼機能検査

4月の生涯研修講座

協会は、4月の診療報酬改定で新たに評価される舌圧検査と有床義歯咀嚼機能検査をテーマにした生涯研修講座を4月17日、M&Dホールで開催。講師は大阪大学大学院歯学研究所の皆木祥伴氏が務める。詳細は3面の行事案内参照。

「いしゃ先生」大阪で上映

『全国保険医新聞』に2015年2月まで連載されていた小説「いしゃ先生」の映画が3月26日から「シネ・リーブル梅田」で上映される。大阪での公開は初めて。協会では、会員限定の特別鑑賞券(1300円)を取り扱っている。希望者は事務局まで。

「いしゃ先生」は、昭和初期から戦後にかけて、山形県西川町大井沢で地域治療に尽力した女性医師・志田周子(しだ・ちかこ)の半生を描いたもの。原作・脚本はあべ美佳、監督は永江二郎。出演・平山あや、榎木孝明ほか。



父のため、私は、故郷の無医村の女医になる

PR増刷号

近畿厚生局・各種名簿などで情報を取得し、未入会の先生に本紙をお送りしています。郵送停止をご希望の方は当協会事務局(TEL 06-6568-7731)まで。

今号は大阪府下の全歯科開業医の先生にお送りしています。この機会に協会へのご入会をご検討ください。協会の概要につきましては、組織部までお気軽にお問い合わせください。

基軸

社会保障から考える「マイナンバー」制度

自治体情報政策研究所代表 黒田充

マイナンバー制度が社会保障にもたらすものは何か。これまで見てきた負担と給付を天秤にかけて「社会保障個人会計」だけではない。マイナンバーは所得だけでなく、2015年9月の番号法改正により預貯金口座とも紐付けられることが既に決まっている。また、固定資産との紐

付けも検討されている。番号法の改正案が審議されていた15年5月の参院本会議の代表質問において、日本共産党の辰巳孝太郎議員が、「高齢者の金融資産を調べ、医療、介護の負担を引き上げる。これが本当の狙いではないか」と追及した。これに対し麻生太郎財務相は「社会保障制度を維持するため、負担能力に応じ

資産調べ負担引き上げも

預金口座と紐付けし社会保障費削減

ために、所得に応じて医療保険料や窓口負担を差えたり、資産状況に応じて年金給付額を差えたりすることも、マイナンバーの活用と併せて検討されている。また、マイナンバーと結びつけられた資産情報

の活用として想定されているのだ。

また、マイナンバーと政府は戸籍への個人番号の紐付けのための法案

「〇〇に親戚がいるだろう、それなりの所得や財産があるだろうから、まずはそこに相談するように」と、窓口で言われることになるかも知れない。そんな話を持ち出されたくないとして、生活保護申請をためらう人が出て来るのは確実である。

マイナンバーは社会保障費の削減に大いに貢献することになるのだ。(つづく)

お知らせ

協会の社保担当事務局員は、4月中旬まで改定書籍『歯科保険診療の研究』の製作業務で事務所を離れます。お問い合わせは、出先から折り返しの対応となります。

歯界

プロ野球のスターが覚醒剤所持で逮捕され、その実態と検察当局の活動が連日報道されている。またアヘン戦争の時の危機感が漂っているのでも無さそう。少年の夢を壊す「落ちた偶像がマスコミの食欲をそそるようだ。この事件を金に糸目はずけない最重要課題とした検察の細心の捜査活動は、人材の投入も半端でない。国が注力している背景には、我われが知らぬ間に麻薬や覚醒剤の国際市場が日本を荒らしまわり、底のほうで汚染が蔓延しつつある現実があるのかも知れない。

麻薬や覚醒剤は社会を根底から腐敗させる重大性がある。だが、未解決の個人的犯罪の被害者や家族にとって、当局の手ぬるさは切歯扼腕の思いだろう。悪い奴を捕まえて証拠物件を押し戻してもコンピュータに入力する暇が無く、倉庫に入りきれないほど溜まって、空き部屋や機械室にまで放置しているのではないか。地域や市民生活の安全を担う警察官が人手不足でないことを願う。